



## Raritan PX3TS

### クイック セットアップ ガイド

PX3TS トランスファースイッチは 2 つの AC 電源からラック IT 機器への給電を切り替えます。このスイッチは、電源の可用性と品質に基づき、どちらの電源が負荷に対応できるかを自動的に選択します。

このクイック セットアップ ガイドは、経験のあるユーザを対象としています。詳細な指示事項は、ラリタンの Web サイトの「サポート (Support)」ページ (<http://www.raritan.com/support>) から、PX3TS トランスファースイッチのオンラインヘルプを参照してください。

### 安全に関する注意事項

**警告:** このガイドのすべてのセクションを読んで理解してから、本製品を設置または運用してください。この警告に従わなかった場合、感電、火災、死傷につながるおそれがあります。この製品を運用する前に、オンラインヘルプ、特にオンラインヘルプの警告を読んでください。

**警告:** 本製品は、電圧が製品のネームプレートに示されている範囲内にある AC 電源に接続してください。

**警告:** 本製品は、国や地域の電気工事規定に従って適切な定格のヒューズまたはサーキットブレーカで電流が制限されている AC 電源に接続してください。

**警告:** 本製品は、湿気の少ない場所で使用してください。

**警告:** 本製品は、保安用接地に接続してください。製品のプラグと壁のアウトレット (コンセント) の間に「グラウンドリフトアダプタ」は使用しないでください。

### 同梱内容

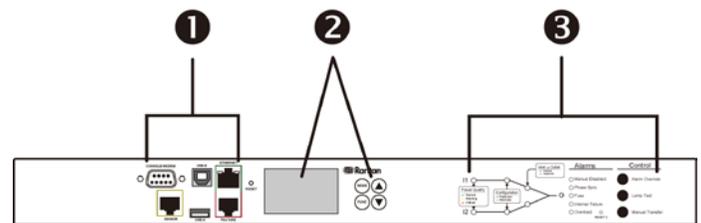
- PX3TS デバイス
- ブラケットパックおよびネジ
- クイック セットアップ ガイド
- 保証書
- インレットトランスファースイッチ用交換ヒューズ (2 つ)

注: ご使用の PX3TS の定格に応じて、適切なヒューズは異なります。追加のヒューズは、ラリタンまでご注文ください。適切なヒューズタイプやヒューズのラリタン部品番号については、オンラインヘルプの技術仕様を参照してください。

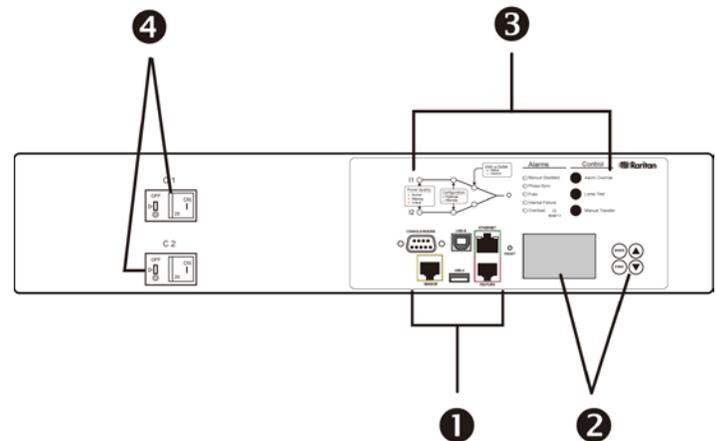
- 両端が DB9 コネクタのヌルモデムケーブル (ラリタン部品番号: 254-01-0006-00) (オプション)

### 前面図

#### ▶ 1U モデル:



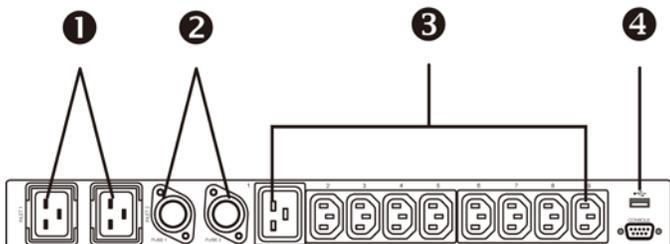
#### ▶ 2U モデル:



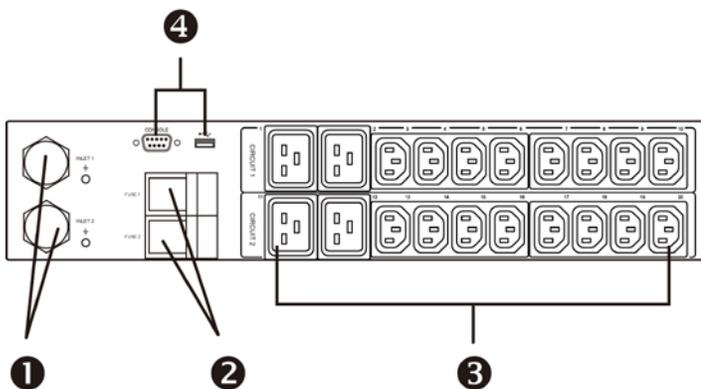
1. 接続ポート (x 6)
2. LCDディスプレイおよびコントロールボタン
3. トランスファースイッチのインジケータランプおよびコントロールボタン
4. 過電流保護 - アウトレット (コンセント) の各バンクに 1 つ (一部のモデルのみ利用可能)

## 背面図

### ▶ 1U モデル:



### ▶ 2U モデル:



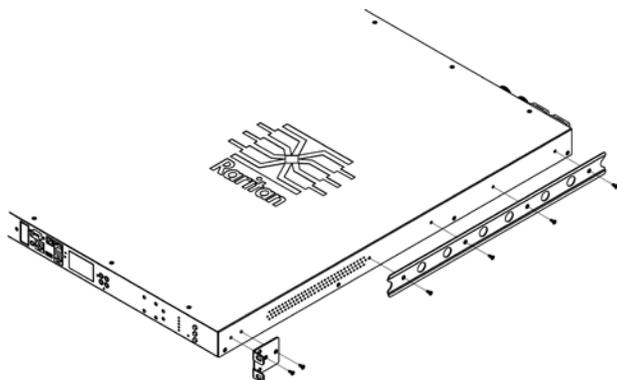
1. インレット
2. ヒューズ - 各インレットにつき1つ
3. アウトレット(コンセント)
4. 接続ポート(x2)

## PX3TS デバイスの装着

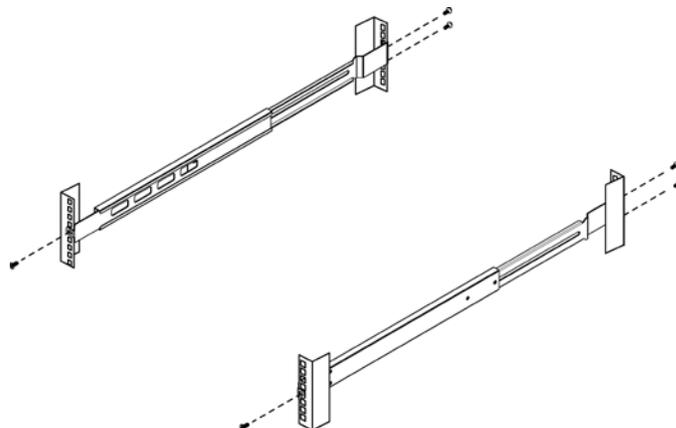
適切なブラケットと工具を使用して、1Uまたは2UのPX3TSデバイスをラックまたはキャビネットに固定します。PX3TSデバイスの設置方法は、デバイスの長さによって異なります。

### ▶ 長いPX3TSデバイスを装着するには、次の手順に従います。

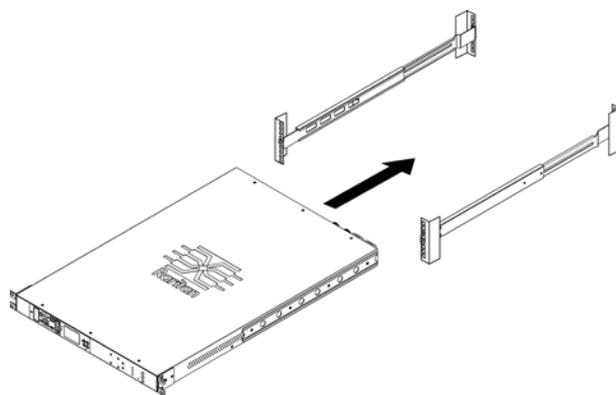
1. 取り付け用の耳とブラケットを、付属のネジでPX3TSの各側面に取り付けます。



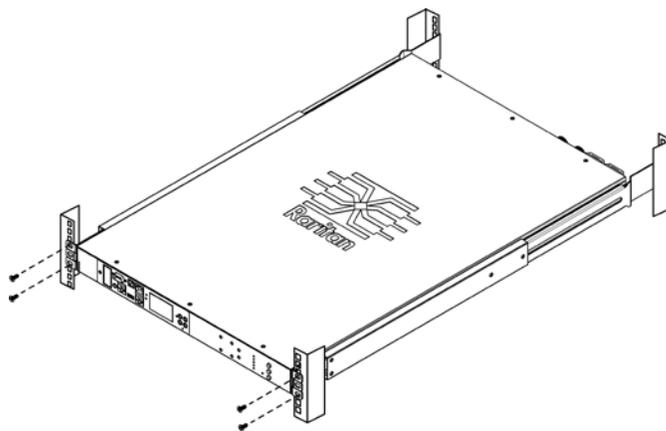
2. スライドレールアセンブリを調節してラックのポストに合わせ、手持ちの留め具を使用して、ラックに固定します。



3. 取り付け用ブラケットをスライドレールと並べて、製品をレールに押し込みます。

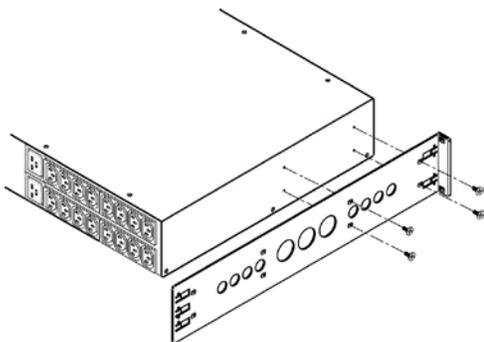


4. 手持ちの留め具を使用して、取り付け用の前耳をラックに固定します。

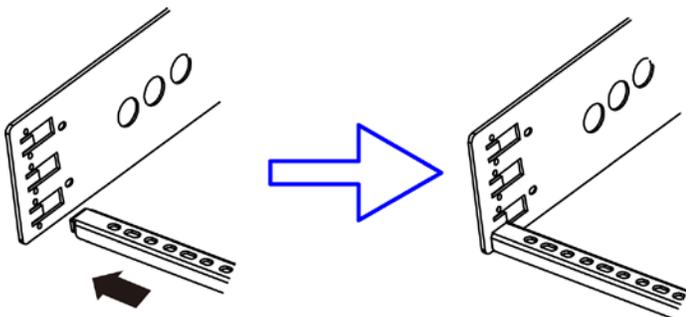


▶ **短いPX3TSデバイスを装着するには、次の手順に従います。**

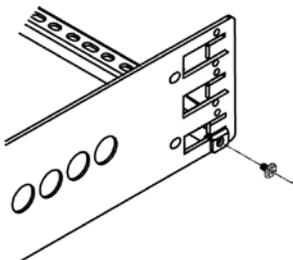
1. 付属のネジで、ラックmountブラケットをPX3TSデバイスの側面に取り付けます。1Uモデルの場合、ネジ穴の合計数と位置は、次の2Uモデルの図と異なります。



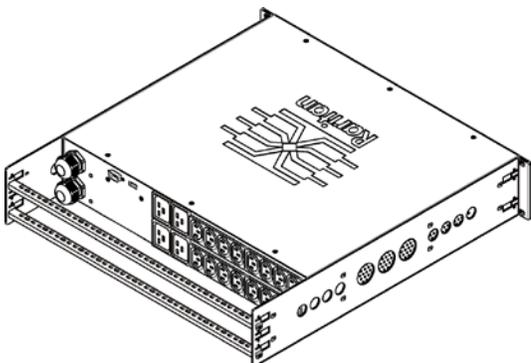
2. ケーブル支持バーをラックmountブラケットに差し込みます。



3. ケーブル支持バーを同梱のエンドキャップネジで固定します。



4. 2Uモデルで、上記の手順を繰り返して、他のケーブル支持バーを取り付けます。



5. 手持ちの留め具を使用して、ラックmountブラケットの耳をラックに固定します。

## インレットおよびアウトレット(コンセント)電源接続

PX3TSは、2つの異なる、ただし同一の定格の分岐回路に接続します。

PX3TSは、分岐回路電圧が位相不一致のときに動作しますが、位相が一致しているときにもっとも信頼性が高く、高速で機能します。インレットの位相が不一致のとき、フロントパネルの[Phase Sync(位相同期)]ランプが点灯します、

### 電源と機器の接続

ご使用のPX3TSには、ヒューズやサーキットブレーカが装備されている場合があります。電源を接続する前に、すべてがしっかりと設置されているか、オンに設定されていることを確認してください。

PX3TSインレットには、INLET 1 (I1)とINLET 2 (I2)のラベルが付いています。INLET 1は、工場出荷時にデフォルト優先インレットで、INLET 2は、工場出荷時にデフォルト代替インレットです。

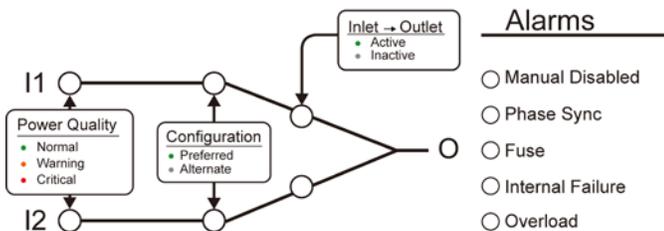
ヒント: 必要に応じて、優先と代替のインレットを切り替えることができます。「**手動切り替え**」(ページ5)を参照してください。

▶ **電源接続を行うには、次の手順に従います。**

1. PX3TSインレットを分岐回路に接続します。
2. 電気機器をアウトレット(コンセント)に接続します。
3. 電力を分岐回路に流します。

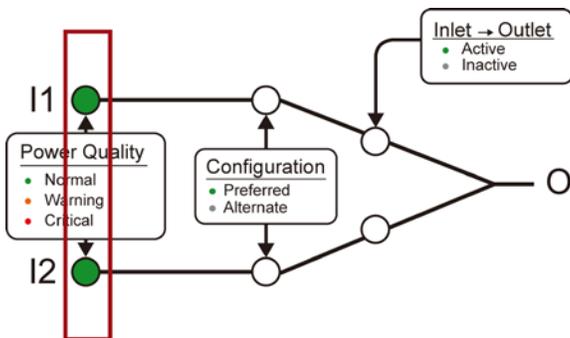
## インジケータランプのテスト

[Lamp Test(ランプテスト)]コントロールボタンを押して、すべてのトランスファースイッチインジケータランプがオンであることを目視で確認します。「プッシュボタンの制御」(ページ5)を参照してください。



## 電源品質インジケータランプ

インレットの電源品質が、3色のLEDで表示されます。



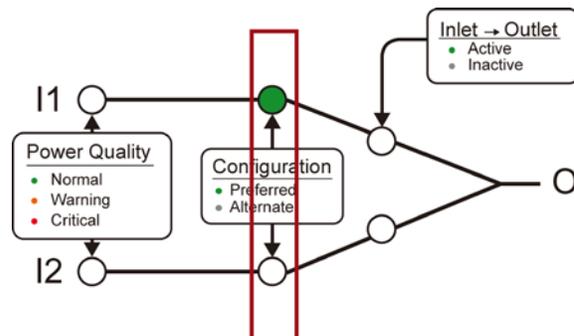
- 正常(緑色): 電源品質(電圧と周波数)は良好です。
- 警告(橙色): 電源品質は最適ではありませんが、許容範囲内です。
- 危険(赤色): 電源が利用できないか、電源品質が許容範囲内ではありません。

注: 電圧と周波数の設定方法については、「電源品質の設定」(ページ7)を参照してください。

## インレット設定インジケータランプ

緑色の LED は、どのインレットが優先かを示します。デフォルトは、Inlet 1 です。

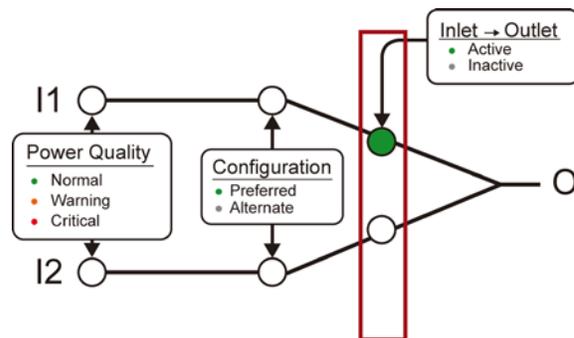
優先インレットは、電源品質が悪くない限り、アウトレット(コンセント)に電力を供給します。[Manual Transfer(手動切り替え)]ボタンで、優先インレットを変更することができます。「プッシュボタンの制御」(ページ5)を参照してください。



## アクティブなインレットのインジケータランプ

緑色の LED は、どのインレットがアウトレットに給電しているかを示します。一度にオンになるのは、1つの LED のみです。

[Manual Transfer(手動切り替え)]ボタンで、他のインレットに給電を変更することができます。



## アラームのインジケータランプ

### Alarms

- Manual Disabled
- Phase Sync
- Fuse
- Internal Failure
- Overload

ランプ	意味
Manual Disabled(手動が無効)	フロントパネルの[Manual Transfer(手動切り替え)]ボタンが無効です。「プッシュボタンの制御」(ページ5)を参照してください。

ランプ	意味
Phase Sync(位相同期)	インレットが位相不一致です。
Fuse(ヒューズ)	ヒューズが切れました。 交換用ヒューズは、ラリタンの付属のヒューズまたは同等のものを必ず使用してください。 ヒューズの注文時は、適切なヒューズタイプやヒューズのラリタン部品番号について、オンラインヘルプの技術仕様を参照してください。
Internal Failure(内部故障)	ハードウェアの内部故障です。 ラリタンのテクニカルサポートにご連絡ください。Web インタフェースには、特定の内部故障用の追加のインジケータがあります。
Overload(過負荷)	回路がショートしたため、機器への電源がオフです。

## ブッシュボタンの制御

### Control



Alarm Override



Lamp Test



Manual Transfer

ボタン	押されたときのアクション
Alarm Override(アラーム無効)	アラーム状況中に手動切り替えを強制実行します。
Lamp Test(ランプテスト)	すべてのトランスファースイッチインジケータランプをオンにします。電源品質 LED が橙色に変わります。
Manual Transfer(手動切り替え)	給電を他のインレットに変更します。新しくアクティブになったインレットが優先インレットになります。

## 運転モード

Normal(正常): 優先インレットがアクティブです。代替インレットは正常または警告状態にあります。

Non-redundant(非冗長): 優先インレットがアクティブです。代替インレットは危険または電源が失われました。

Standby(スタンバイ): 代替インレットがアクティブです。

Off(オフ): アラームまたは内部故障が発生したか、両方のインレットが危険になったため、いずれのインレットもアクティブではありません。電源復帰については、「**手動切り替え**」(ページ5)を参照してください。

## 自動切り替え

代替インレットへの自動切り替えは、優先インレットの電源品質が危険になったときに行われます。

優先インレットに戻る自動切り替えは、優先インレットの電源品質が正常に戻ったときに行われます。

注: 再切り替えの設定については、「**切り替えオプションの設定**」(ページ6)を参照してください。

## 手動切り替え

[Manual Transfer(手動切り替え)]ボタンは、アクティブなインレットを変更したり、新しくアクティブなインレットを優先インレットに設定したりします。

[Manual Transfer(手動切り替え)]ボタンは、アラームランプがアクティブなときは無効です。アラームを無効にして手動切り替えを強制的に行うには、この手順に従ってください。

1. アラームを発生させた負荷の問題を修正します。
2. [Alarm Override(アラーム無効)]ボタンを押しながら、[Manual Transfer(手動切り替え)]を押します。

注: この手順は、手動が無効またはヒューズのアラームランプがオンのときは適用できません。

## ネットワークへの PX3TS の接続

1. 標準のネットワークパッチケーブルを PX3TS デバイスの Ethernet ポートに接続します。
2. ケーブルのもう一方の端を LAN に接続します。

注: ワイヤレスネットワークに接続することもできます。「**付録 B: ワイヤレス接続**」(ページ10)を参照してください。

## PX3TS の設定

注: 現在のネットワーク環境が DHCP IPv4 ネットワーク環境ではない場合(たとえば IPv6 ネットワークなど)、初期設定については、「**付録 A: 接続したコンピュータからの設定**」(ページ7)を参照してください。

### 手順 1: IPv4 アドレスの表示

DHCP が割り当てられた IPv4 アドレスは、フロントパネルディスプレイで入手可能です。



▶ IPv4 アドレスを表示するには、次の手順に従います。

1. [Mode (モード)] ボタンを押して、デバイスモードを入力します。モードは、ディスプレイ左上部のアルファベット「d」で示されています。
2. LCD ディスプレイは、4 オクテットの IPv4 アドレス間で切り替わります。これは、ディスプレイ上部右端の「i4」で示されています。たとえば、192.168.84.4 は次の順番で切り替わります。  
192 --> 168 --> 84 --> 4

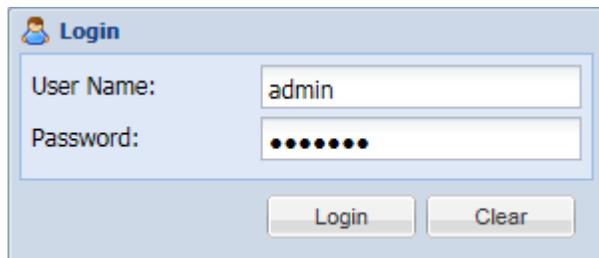
注: ネットワークが IPv6 のみをサポートしている場合、または DHCP が利用できない場合、IP アドレスは、コンピュータへの直接接続により設定する必要があります。「付録 A: 接続したコンピュータからの設定」(ページ 7) を参照してください。

### 手順 2: PX3TS Web インタフェースへのログイン

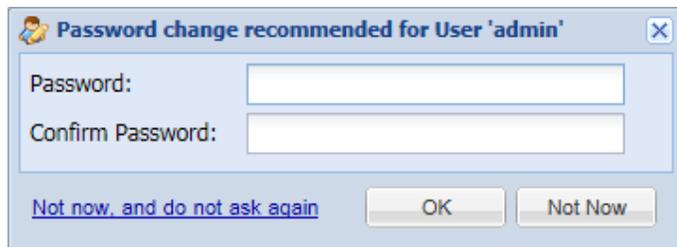
1. Web ブラウザを開いて、PX3TS デバイスの IP アドレスを入力します。
  - リンクローカルアドレスが有効な場合、IP アドレスではなく、「pdu.local」と入力することもできます。「付録 A: 接続されたコンピュータを介した設定」(ページ 7) を参照してください。



2. セキュリティ警告が表示されたら、すべて許可します。
3. デフォルトのユーザ名は「admin」、パスワードは「raritan」です。次に、[Login (ログイン)] をクリックします。



4. パスワードの変更を求めるプロンプトが表示されたら、パスワードを変更するか、無視します。



- パスワードを変更するには、新しいパスワードを入力して [OK] をクリックします。

- 今回はパスワード変更をしない場合、[Not Now (後で変更)] をクリックします。
- パスワードを今後変更しない場合は、[Not now, and do not ask again (今は変更しない。このメッセージを今後表示しない)] をクリックします。

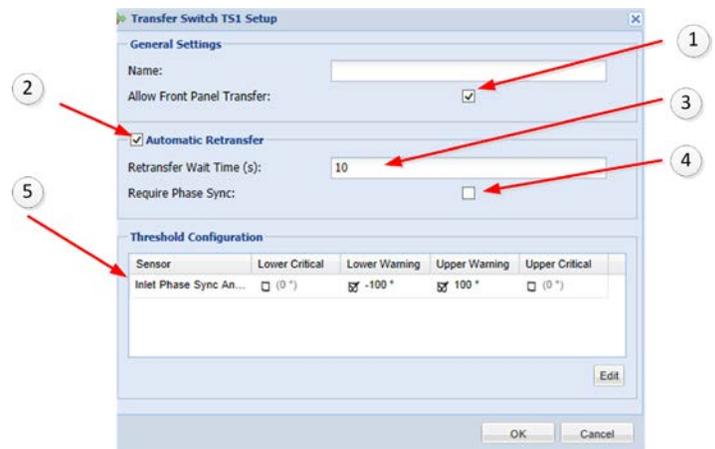
### 手順 3: PX3TS Web 設定の概要

1. PX Explorer ペインで、トランスファースイッチアイコンをクリックします。
2. [Setup (設定)] をクリックして、切り替えオプションを設定します。
3. [Power Quality Setup (電源品質の設定)] をクリックして、電源品質を設定します。



### 切り替えオプションの設定

1. フロントパネルの [Manual Transfer (手動切り替え)] ボタンを有効/無効にします。
2. 自動切り替えを有効/無効にします。再切り替えは、優先インレット電源が復帰したときに、正常運転に戻します。
3. 再切り替えが行われる前に優先インレット電源が正常な状態を維持する必要のある時間 (秒) を入力します。
4. インレットが位相不一致のときは、切り替えを有効/無効にします。
5. (オプション) インレット位相角差のしきい値のレポート。値は、位相同期検出または切り替えに影響ありません。

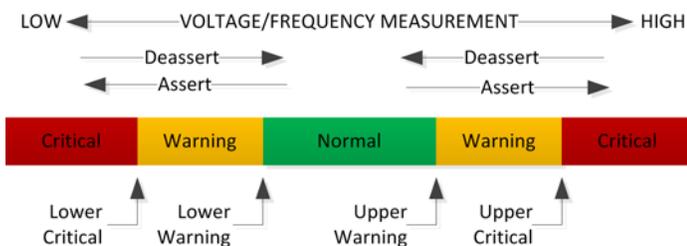


## 電源品質の設定

インレットの電源品質状態(通常/警告/危険)は、インレットの電圧と周波数の品質(いずれか低い方)に基づきます。電圧または周波数が危険な場合、電源品質が危険となります。いずれかが警告の場合は、品質は警告となります。両方が正常な場合、電源品質は正常となります。

PX3TS は、優先インレットの電源品質が危険になったときにはスタンバイ運転に切り替え、電源品質が正常に戻ると、正常運転に再度切り替えます。警告状態では切り替えは行われず、潜在的問題の早期警告とされます。

品質が改善から悪化に変わると、状態の変更がアサートであると示されます。状態の変更が実際に行われるまで、どの程度の時間、品質は悪化状態にある必要があるかを設定します。品質が悪化から改善に変わると、状態の変更がアサート停止であると示されます。状況の変更が行われる前に、ヒステリシス(品質はしきい値よりどの程度良好であるべきか)を設定します。



電圧と周波数の設定は同一です。

1. 警告と危険について、上限および下限のしきい値を入力します。
2. アサート時間(秒)を入力します。
3. アサート停止のヒステリシス値を入力します。

Voltage Settings	
Lower Critical Voltage (V):	100
Lower Warning Voltage (V):	194
Upper Warning Voltage (V):	209
Upper Critical Voltage (V):	260
Deassertion Hysteresis (V):	4
Assertion Timeout (s):	4

Frequency Settings	
Lower Critical Frequency (Hz):	48.0
Lower Warning Frequency (Hz):	50.0
Upper Warning Frequency (Hz):	60.0
Upper Critical Frequency (Hz):	66.0
Deassertion Hysteresis (Hz):	2.0
Assertion Timeout (s):	3

## 付録 A: 接続したコンピュータからの設定

設定にコマンドラインインタフェース(CLI)を使用するには、RS-232 または USB 接続を確立する必要があります。

設定に Web ブラウザを使用するには、コンピュータをネットワークに接続してください。利用可能な DHCP がない場合、PX3TS は、ネットワーク内の以下のリンクローカルアドレスに自動的に設定されます。

- <https://169.254.x.x>(「x」は番号)
- <https://pdu.local>

### 手順 1: コンピュータへの PX3TS の接続

コンピュータへの次のいずれかの接続を確立します。

#### ▶ シリアル RS-232 接続:

1. ヌルモデムケーブルの片方の端を、PX3TS デバイスの CONSOLE/MODEM というラベルの RS-232 ポート(雄口)に接続します。
2. ヌルモデムケーブルのもう一方の端をコンピュータの RS-232 ポート(COM)に接続します。
3. 「手順 2: PX3TS を CLI から設定する(任意)」(ページ7)を実行してください。

#### ▶ USB 接続:

1. Windows®では、USB-to-Serial ドライバが必要です。USB ケーブルを接続する前に、このドライバをインストールしてください。「USB-to-Serialドライバのインストール(任意)」(ページ11)を参照してください。
2. PX3TS デバイスの USB-B ポートとコンピュータの USB-A ポートを USB ケーブルで接続します。
3. 「手順 2: PX3TS を CLI から設定する(任意)」(ページ7)を実行してください。

#### ▶ 直接ネットワーク接続:

1. 標準のネットワークパッチケーブルの片端を PX3TS デバイスの Ethernet ポートに接続します。
2. もう一方の端をコンピュータの Ethernet ポートに接続します。
3. 接続したコンピュータで、いずれかのリンクローカルアドレス(pdu.local または 169.254.x.x)を使用し、Web ブラウザを起動して PX にアクセスします。「PX3TS の設定」(ページ5)を参照してください。この接続では、CLI を使用することは できません。

注: コンピュータのワイヤレスのインタフェースが無効になっていることを確認してください。

### 手順 2: PX3TS を CLI から設定する(任意)

RS-232 または USB 接続で以下を実行します。

▶ **PX3TS を CLI から設定するには、次の手順に従います。**

1. PX3TS に接続されているコンピュータで、HyperTerminal や PuTTY などの通信プログラムを開きます。
2. 適切な COM ポートを選択して、ポートを以下のように設定します。

- ビット/秒 = 115200(115.2Kbps)
- データビット = 8
- ストップビット = 1
- パリティ = なし
- フロー制御 = なし

ヒント: USB 接続では、[Control Panel(コントロールパネル)] > [System(システム)] > [Hardware(ハードウェア)] > [Device Manager(デバイスマネージャ)]を選択し、[Port (ポート)]グループの「Dominion PX2 Serial Console (Dominion PX2 シリアルコンソール)」を特定して、COM ポートを決定することができます。

3. 通信プログラムで、Enter を押して PX3TS にキャリッジリターンを送信します。
4. PX3TS でログインを求めるプロンプトが表示されます。ユーザ名とパスワードは両方とも大文字と小文字を区別します。
  - a. ユーザ名: admin
  - b. パスワード: raritan(または変更後の新しいパスワード)
5. パスワードの変更を求めるプロンプトが表示されたら、パスワードを変更するか、無視します。
  - パスワードを変更するには、画面の指示に従って新しいパスワードを入力します。
  - パスワードを変更しない場合は、Enter を押してください。
6. #プロンプトが表示されます。
7. 「config」と入力し、Enter を押します。
8. ネットワークを設定するには、適切なコマンドを入力して Enter を押します。すべてのコマンドが、大文字と小文字を区別します。
  - a. ネットワークモードを設定するには、次のコマンドを入力します。
 

```
network mode <mode>
```

 この場合、<mode>は、「wired」(デフォルト)または「wireless」になります。
  - b. 有線ネットワークモードでは、LAN インタフェースを設定できます。ほとんどの場合、デフォルト設定(auto(自動))で正常に機能します。必要のない限り変更しないでください。

設定対象	使用するコマンド
LAN interface speed(LAN インタフェース速度)	network interface LANInterfaceSpeed <option>  <option>は、auto、10Mbps または 100Mbps です。
LAN interface duplex mode (LAN インタフェースデュプレックスモード)	network interface LANInterfaceDuplexMode <mode>  <mode>は、half、full または auto です。

ヒント: 複数のコマンドを組み合わせることで複数のパラメータを一度に設定できます。たとえば、次のように設定します。  
network interface LANInterfaceSpeed <option>  
LANInterfaceDuplexMode <mode>

- c. ワイヤレスネットワークモードの場合、Service Set Identifier(SSID)パラメータを設定する必要があります。

設定対象	使用するコマンド
SSID	network wireless SSID <ssid>  <ssid>は、SSID 文字列です。

必要な場合は、次の表に示す他のワイヤレスパラメータを設定します。

設定対象	使用するコマンド
BSSID	network wireless BSSID <bssid>  <bssid>は、AP MAC アドレスまたは none です。
認証方法	network wireless authMethod <method>  <method>は、psk または eap です。
PSK	network wireless PSK <psk>  <psk>は、PSK 文字列です。
EAP 外部認証	network wireless eapOuterAuthentication <outer_auth>  <outer_auth>は PEAP です。
EAP 内部認証	network wireless eapInnerAuthentication <inner_auth>  <inner_auth>は、MSCHAPv2 です。

設定対象	使用するコマンド
EAP ID	network wireless eapIdentity <identity>  <identity>は、EAP 認証のユーザ名です。
EAP パスワード	network wireless eapPassword  EAP 認証にパスワードの入力を求めるプロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
EAP CA 証明書	network wireless eapCACertificate  CA 証明書の入力を求めるプロンプトが表示されたら、テキストエディタで証明書を開き、その内容を通信プログラムにコピーアンドペーストします。

CA 証明書からコピーする内容に、「BEGIN CERTIFICATE」が含まれる最初の行と、「END CERTIFICATE」が含まれる最後の行を含めないでください。証明書がインストールされている場合は、以下を設定します。

オプション	使用するコマンド
証明書の検証	network wireless enableCertVerification <option1>  <option1>は、true または false です。
期限切れまたは有効な証明書の許可	network wireless allowOffTimeRangeCerts <option2>  <option2>は、true または false です。
「不正な」システム時刻を無視して接続を適切に行う	network wireless allowConnectionWithIncorrectClock <option3>  <option3>は、true または false です。

- d. どちらの IP プロトコル (IPv4 または IPv6) を有効にし、DNS サーバから返された IP アドレスのどちら (IPv4 または IPv6) を使用するかを決定するには、次のパラメータを設定します。

設定対象	使用するコマンド
IP プロトコル	network ip proto <protocol>  <protocol>は、v4Only、v6Only または both です。

設定対象	使用するコマンド
DNS サーバから返された IP アドレス	network ip dnsResolverPreference <resolver>  <resolver>は、preferV4 または preferV6 です。

- e. 前の手順で IPv4 または IPv6 プロトコルを有効にした後、IPv4 または IPv6 ネットワークパラメータを設定します。

設定対象	使用するコマンド
IPv4 設定方法	network ipv4 ipConfigurationMode <mode>  <mode>は、dhcp (デフォルト) または static です。
IPv6 設定方法	network ipv6 ipConfigurationMode <mode>  <mode>は、automatic (デフォルト) または static です。

- IPv4 DHCP または IPv6 自動設定の場合は、優先ホスト名を設定します。

注: 次のすべてのコマンドの <version> 変数は、有効にした IP プロトコルのタイプに応じて、ipv4 または ipv6 のいずれかとなります。

設定対象	使用するコマンド
優先ホスト名 (オプション)	network <version> preferredHostName <name>  <name>は、優先ホスト名です。

ヒント: DHCP によって割り当てられた DNS サーバを手動で指定したサーバで上書きするには、次のコマンドを入力します。

```
network <version> overrideDNS <option>
```

この場合、<option>は enable または disable です。DNS サーバを手動で指定するためのコマンドについては、次の表を参照してください。

- 静的 IP 設定の場合は、次のパラメータを設定します。

設定対象	使用するコマンド
静的 IPv4 または IPv6 アドレス	network <version> ipAddress <ip address>  <ip address>は、静的 IP アドレスです。
IPv4 サブネットマスク	network ipv4 subnetMask <netmask>  <netmask>は、サブネットマスクです。
IPv4 または IPv6 ゲートウェイ	network <version> gateway <ip address>  <ip address>は、ゲートウェイの IP アドレスです。
IPv4 または IPv6 プライマリ DNS サーバ	network <version> primaryDNSServer <ip address>  <ip address>は、プライマリ DNS サーバの IP アドレスです。
IPv4 または IPv6 セカンダリ DNS サーバ(オプション)	network <version> secondaryDNSServer <ip address>  <ip address>は、セカンダリ DNS サーバの IP アドレスです。

9. 設定モードを終了するには、次のいずれかのコマンドを入力し、Enter を押します。

コマンド	説明
apply	設定変更をすべて保存して、設定モードを終了します。
cancel	設定変更をすべて中止して、設定モードを終了します。

#プロンプトが表示され、設定モードが終了したことがわかります。

10. すべて正しく設定されているかどうかを確認するには、次のコマンドを1つずつ入力します。

コマンド	説明
show network	ネットワークパラメータが表示されます。
show network ip all	すべての IP 設定パラメータが表示されます。
show network wireless details	すべてのワイヤレスパラメータが表示されます。

ヒント:「show network wireless」と入力すると、ワイヤレス設定の簡易版が表示されます。

11. すべて正しい場合は、「exit」と入力してPX3TSからログアウトします。正しくない設定がある場合は、手順7~10を繰り返してネットワーク設定を変更します。

## 付録 B: ワイヤレス接続

### USB ワイヤレス LAN アダプタ

PX3TS は、次の USB Wi-Fi LAN アダプタをサポートしています。

Wi-Fi LAN アダプタ	サポートされている 802.11 プロトコル
Proxim Orinoco 8494	A/B/G
Zyxel NWD271N	B/G
Edimax EW-7722UnD	A/B/G/N
TP-Link TL-WDN3200 v1	A/B/G/N
Raritan USB WIFI	A/B/G/N

注: 802.11n ワイヤレスネットワークへの接続に Edimax EW-7722UnD またはラリタンの USB WIFI ワイヤレス LAN アダプタを使用するには、ハンドシェイクタイムアウトの設定を 500 以上に設定する必要があります。設定しないと、ワイヤレス接続が失敗します。

### サポートされているワイヤレス LAN 設定

ワイヤレスネットワーク接続を選択する場合は、PX3TS のワイヤレス LAN 設定がアクセスポイントに適合していることを確認します。PX3TS がサポートしているワイヤレス LAN 設定は次のとおりです。

- ネットワークタイプ: 802.11 A/B/G/N
- プロトコル: WPA2 (RSN)
- キー管理: PEAP および MSCHAPv2 認証による WPA-PSK または WPA-EAP
- 暗号化: CCMP (AES)

**重要:** サポートされている 802.11 ネットワークプロトコルは、PX3TS で使用されているワイヤレス LAN アダプタに応じて異なります。「USB ワイヤレス LAN アダプタ」(ページ 10) を参照してください。

### ワイヤレス接続の確立

必要に報じて、PX3TS をワイヤレスネットワークに接続します。

#### ▶ ワイヤレス接続を確立するには、次の手順に従います。

次のいずれかを行います。

- サポートされている USB ワイヤレス LAN アダプタを、PX3TS の USB-A ポートに接続します。
- USB ドッキングステーションを、PX3TS の USB-A ポートに接続します。次に、サポートされている USB ワイヤレス LAN アダプタを、ドッキングステーションの適切な USB ポートに接続します。

サポートされているワイヤレス LAN アダプタの一覧は、「USB ワイヤレス LAN アダプタ」(ページ 10) を参照してください。

## 付録 C: その他の情報

### USB-to-Serial ドライバのインストール(任意)

PX3TS は、USB 接続で USB-to-Serial コンバータをエミュレートすることができます。Microsoft® Windows® オペレーティングシステムでは、「Dominion PX2 シリアルコンソール」という名称の USB-to-Serial ドライバが必要です。

ラリタンのウェブサイトの「サポート(Support)」ページ (<http://www.raritan.com/support/>) から、USB シリアルコンソールドライバをダウンロードしてください。ドライバには、`dominion-serial.inf`、`dominion-serial.cat`、`dominion-serial-setup-<n>.exe` ファイルが含まれています。

注: 「`dominion-serial-setup-<n>.exe`」のファイル名の `<n>` は、ファイルのバージョン番号を表します。

このドライバのインストール方法は、自動インストールと手動インストールの 2 つがあります。自動ドライバインストールをお勧めします。

#### ▶ Windows®での自動ドライバインストールは、次の手順に従います。

1. PX3TS が USB ケーブルでコンピュータに接続されて いない ことを確認してください。
2. コンピュータで `dominion-serial-setup-<n>.exe` を実行し、オンライン指示事項に従ってドライバをインストールします。

注: Windows のセキュリティ警告が表示された場合は、許可をしてインストールを続行してください。

3. PX3TS を USB ケーブルでコンピュータに接続します。ドライバが自動的にインストールされます。

注: 手動でのドライバのインストールは、自動インストールに失敗したときのみ、行ってください。手動でのインストール手順は、オンラインヘルプの「USB-to-Serial ドライバのインストール(任意)」セクションを参照してください。

#### ▶ Linux の場合:

追加のドライバは不要ですが、tty デバイスの名前を入力する必要があります。これは、PX3TS をコンピュータに接続した後、「`dmesg`」を実行した結果に含まれています。通常、tty デバイスは、「`/dev/ttyACM#`」または「`/dev/ttyUSB#`」です。「`#`」は整数です。

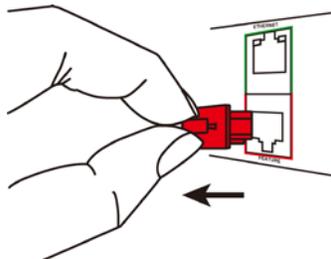
たとえば、kermit ターミナルプログラムを使用し、tty デバイスが「`/dev/ttyACM0`」の場合は、次のコマンドを実行します。

```
> set line /dev/ttyACM0
```

```
> connect
```

### 機能ポートの RJ-45 キャップ

工場集荷時、PX3TS モデルでは、不適切な機器との接続から保護することを目的とするキャップが FEATURE (機能) ポートに付けられています。必要に応じて取り外します。



### その他の情報

PX3TS およびラリタンの製品ラインナップ全体の詳細については、ラリタンの Web サイト ([www.raritan.com](http://www.raritan.com)) を参照してください。技術的な問題については、ラリタンのテクニカルサポート窓口にお問い合わせください。世界各地のテクニカルサポート窓口については、ラリタンの Web サイトの「Support (サポート)」セクションにある「Contact Support (サポートお問い合わせ先)」ページを参照してください。

ラリタンの製品では、GPL および LGPL の下でライセンスされているコードを使用しています。お客様は、オープンソースコードのコピーを要求できます。詳細については、ラリタンの Web サイトにある「Open Source Software Statement (オープンソースソフトウェアについて)」 (<http://www.raritan.com/about/legal-statements/open-source-software-statement/>) を参照してください。